

# 折尾地区総合整備事業について

別紙

## ■ 折尾地区の概要



「折尾地区」は古くから石炭輸送の要衝として栄え、鉄道による我が国の産業の近代化に大きく貢献してきた。

近年では、隣接する遠賀・中間地区を含めた行政の中心地として、また、周辺部の住宅開発の進展と併せ、北部九州有数の学園都市として発展してきた。

しかし、折尾駅周辺地区は次のような問題を抱えていた。

- 鉄道による市街地の分断、踏切による交通渋滞
- 道路などの基盤整備の遅れ
- 学園都市の玄関口として商業・業務・文化施設などの不足
- 古くからの密集市街地の存在

これらの課題を総合的に解決し、折尾地区を「学園都市や学術研究都市の玄関口」にふさわしい地域拠点として再構築するため、

●連続立体交差事業 ●街路事業 ●土地区画整理事業を一体的に実施する「折尾地区総合整備事業」を進めている。

### まちづくりのコンセプト



### 「オリオXcite(エキサイト)」

若者とともに駆け上がる成長の舞台「折尾」  
～3つのXで発展するまち～

- ・1番目のX：鉄道幹線の交差(Cross)
- ・2番目のX：若者(学生)と地域住民の交流(Exchange)
- ・3番目のX：南側駅前開発による変革(Transformation)

加えて、将来性や潜在能力(ポテンシャル)は、未知数(未知数 = X)の意味も込めた

### まちづくりの目標

住みやすく、魅力的で、にぎわいのあるまちづくり

## ■ 進捗状況



折尾駅周辺(R7.4撮影)

- **連続立体交差事業**(事業延長 約4.5km)  
**総事業費 約501億円(市負担約454億円)**  
 H17.3 : 事業着手(事業認可取得)  
 H31.3 : 筑豊本線高架切替完了  
 除却予定踏切9箇所の内3箇所を除却  
 R3.1 : 鹿児島本線高架本切替  
 JR折尾駅新駅舎開業  
 R4.3 : 短絡線高架切替  
 R6.3 : 旧鉄道施設 撤去完了  
 R6年度 : 連続立体交差事業完了



折尾駅北側駅前広場(R5.4撮影)

- **街路事業**(事業延長 約3.7km、駅前広場 約9,800㎡)  
**総事業費 約188億円**  
 H17.2 : 事業認可取得 3路線  
 折尾中間線、日吉台光明線、折尾青葉台線  
 H19.12 : 事業認可取得 2路線  
 折尾東西線、折尾南北線  
 H22.7 : 事業認可取得 3路線  
 折尾堀川町線、JR筑豊本線側道2・3号線  
 H31.3 : 事業認可取得1路線  
 JR鹿児島本線側道2号線  
 R元.6 : 事業認可取得:1路線  
 自転車歩行者専用道2号線  
 R5.4 : 折尾駅北側駅前広場供用開始  
 R6.4現在: 6路線 整備中  
 R10年度: 街路事業完了予定



堀川町地区(土地区画整理事業)(R7.4撮影)

- **土地区画整理事業**(施行面積 約16.9ha)  
**総事業費 約306億円**  
 H18.12 : 事業着手(事業認可取得)  
 R5.3 : 堀川町地区完成  
 R6.4現在: 東側地区、鉄道跡地地区を整備中  
 R8年度 : 折尾駅南側駅前広場周辺整備完了予定  
 R13年度 : 土地区画整理事業完了予定



東側地区(土地区画整理事業):R7.4撮影



折尾青葉台線(街路事業):R7.2撮影